

授業科目	日本政治思想史演習
演習題目	日本政治思想史の史料を読む
担当教員	柳愛林
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去の日本人は「政治」をめぐって、いかなる思想を展開してきたのかを理解する。</li> <li>● 資料調査の方法を身につけ、テキストを緻密に読む。</li> <li>● 単に過去の政治思想や歴史知識を得ることにとどまらず、現在の「政治」を考える・批判する力を鍛える。</li> <li>● 「九州」を背景にする政治思想や思想家について探究する。今年度は熊本出身の政治思想家の著作を読む。</li> </ul>
履修条件	特になし。
教科書・参考書	<p>横井小楠『国是三論』など 徳富蘇峰『将来之日本』</p> <p>*参考書は初回に案内する。</p>
授業の計画・内容	<p>毎回、数ページずつ読んでいく。演習の参加者は(参加者の人数によって)1~2回の報告をする。報告者は要約・調べたこと・考察で構成されたレジюмеを作成し、担当者以外の参加者はメモを提出。提出されたレジюмеとメモを事前に目を通し、担当者が報告(20分程度)した後、全員で自由に議論する。</p> <p>横井小楠や徳富蘇峰に関するリサーチ・ペーパー(自由テーマ・自由形式)を提出する。</p>
成績評価の方法	リサーチ・ペーパー、報告、メモを総合的に評価する。